

第26回 酵素応用シンポジウム

2025年 **6月13日** (金) **12:30~17:30**
(懇親会17:45~19:00)

会 場

天野エンザイム株式会社 慈善堂ホール (下図ご参照)

(愛知県北名古屋市九之坪西城屋敷51番地)

名鉄「西春駅」東口から徒歩10分(西春駅は名鉄名古屋駅から犬山線で14分)

プログラム

開会の辞

大西 康夫(東京大学大学院 教授)

■表彰式

■受賞講演

食品分野

演題1 ビタミンK変換反応とCoQ10合成反応のミッシングリンクを繋ぐ酵素の解明

廣田 佳久(芝浦工業大学 システム理工学部 生命科学科 准教授)

演題2 栄養素・異物代謝酵素に着目した生理的な培養モデルによる新たな食品科学研究

高橋 裕(東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教)

生化学分野

演題3 非モデル動植物由来新規アルドキシムおよびニトリル合成・代謝酵素の探索と高度利用

山口 拓也(富山県立大学 工学部 生物工学科 助教)

演題4 持続可能なバイオ産業のための酵素研究とタンパク質工学の新技术開発と応用

DAMNJANOVIC Jasmina(名古屋大学大学院 生命農学研究科 准教授)

演題5 腸内細菌の機能解明に向けた微生物菌叢改変技術の開発

岡野 憲司(関西大学 化学生命工学部 准教授)

演題6 計算によるタンパク質デザイン技術を用いた酵素の改造と創出

小杉 貴洋(自然科学研究機構 分子科学研究所 助教)

演題7 天然物生合成酵素を用いた複雑修飾ペプチドの化学-酵素合成

松田 研一(北海道大学大学院 薬学研究院 准教授)

研究奨励賞

表彰式
及び
受賞講演

企画講演1

The Essential Roles of Universities in the Era of Open Innovation

Karin Markides(沖縄科学技術大学院大学 学長兼理事長)

企画講演2

Japan as only one ~日本の強みをどう生かすか~

松山 大耕(妙心寺退蔵院 副住職)

報告講演

食品加工用酵素のグローバルレギュレーション

小林 俊一(天野エンザイム株式会社 品質保証本部 グローバルRA部長)

閉会の辞

天野 源之(一般財団法人 天野エンザイム科学技術振興財団 理事長)



沖縄科学技術大学院大学
学長兼理事長
Karin Markides 氏



妙心寺退蔵院
副住職
松山 大耕 氏

※閉会后、同会場にてささやかな懇親の場を設けますので、ぜひご出席ください。

申込方法

下記のいずれかの方法にて詳細をご覧のうえ、お申込みください。

■『酵素応用シンポジウム』とネットで検索

■右記QRコードからアクセス



参加費
無料

申込締切

2025年 5月16日(金)

お問合せ先

天野エンザイム株式会社イノベーションセンター内
一般財団法人 天野エンザイム科学技術振興財団 酵素応用シンポジウム事務局
〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ一丁目6番
TEL:058-379-1220 E-mail:symposium@amano-enzyme.com

主 催 一般財団法人 天野エンザイム科学技術振興財団

